



WOWOW 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月31日

上場会社名 株式会社WOWOW 上場取引所 東
コード番号 4839 URL <https://corporate.wowow.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 田中 晃
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理局長 (氏名) 山口 基貴 TEL 03-4330-8080
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト・記者向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	36,614	△4.8	1,039	△51.2	1,467	△29.0	720	△46.0
2023年3月期第2四半期	38,463	△4.3	2,131	38.6	2,065	16.0	1,333	2.6

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,152百万円 (△16.2%) 2023年3月期第2四半期 1,375百万円 (16.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	25.61	-
2023年3月期第2四半期	46.50	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	92,251	66,667	72.3
2023年3月期	97,046	66,828	68.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 66,667百万円 2023年3月期 66,828百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	50.00	50.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,500	△2.1	900	△72.1	1,600	△54.9	700	△70.8	24.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	28,844,400株	2023年3月期	28,844,400株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	657,992株	2023年3月期	739,026株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	28,129,728株	2023年3月期2Q	28,676,103株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、決算短信（添付資料）2ページ「経営成績に関する説明」及び3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 個別業績予想

2024年3月期の個別業績予想 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,400	△2.8	1,200	△57.5	500	△75.4	17.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	10
3. 補足情報	11
(1) 販売の状況	11
(2) 四半期個別業績情報 (参考)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が収束に向かったこと等により、国内消費の回復が期待される環境になりつつあります。しかしながら、世界的な金融引き締めを背景とした景気の下振れ懸念や、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、円安を背景とした原材料価格の高止まり等により、依然として先行きは不透明な状況にあります。

このような経済環境下、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、累計正味加入件数の減少に伴い会員収入が減少したこと等により、売上高は366億14百万円と前年同期に比べ18億48百万円（△4.8%）の減収となりました。営業利益は10億39百万円と前年同期に比べ10億91百万円（△51.2%）の減益、経常利益は14億67百万円と前年同期に比べ5億98百万円（△29.0%）の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億20百万円と前年同期に比べ6億13百万円（△46.0%）の減益となりました。

各セグメントの状況は次のとおりです。

<メディア・コンテンツ>

累計正味加入件数の減少に伴い会員収入が減少したこと等により、売上高は342億22百万円と前年同期に比べ14億23百万円（△4.0%）の減収となりました。セグメント利益は12億8百万円と前年同期に比べ7億11百万円（△37.1%）の減益となりました。

また、当第2四半期連結累計期間の加入状況は次表のとおりとなりました。

(単位：件)

	第39期第2四半期	第40期第2四半期	対前年同期差	対前年同期増減率
新規加入件数	281,570	296,135	14,565	5.2%
解約件数	342,085	380,073	37,988	11.1%
正味加入件数	△60,515	△83,938	△23,423	—
累計正味加入件数	2,619,896	2,475,614	△144,282	△5.5%
内) 複数契約(注)1	368,493	345,756	△22,737	△6.2%
内) 宿泊施設契約(注)2	79,694	82,926	3,232	4.1%

(注)1. 同一契約者による2契約目と3契約目については、月額2,530円(税込)の視聴料金を990円(税込)に割引しており、当該割引の対象となる契約を「複数契約」と呼称しております。

2. 宿泊施設の客室で視聴するための宿泊施設事業者との契約については、視聴料金を個別に定めており、当該契約を「宿泊施設契約」と呼称しております。

<テレマーケティング>

既存外部顧客からのテレマーケティング業務等外部売上が減少したこと等により、売上高は43億25百万円と前年同期に比べ5億51百万円（△11.3%）の減収となり、セグメント損失は1億73百万円の損失（前年同期はセグメント利益2億10百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

第2四半期連結会計期間末における総資産は922億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ47億95百万円の減少となりました。主な要因は、流動資産で現金及び預金、番組勘定が減少したことによるものです。

(負債)

負債は255億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ46億34百万円の減少となりました。主な要因は、流動負債で買掛金が減少したことによるものです。

(純資産)

純資産は666億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億60百万円の減少となりました。主な要因は、剰余金の配当によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ3.4ポイント上昇し、72.3%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の期末残高は、前連結会計年度末に比べ8億27百万円減少し、249億29百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は24億円（前年同期比8億33百万円増）となりました。主な増加要因は、棚卸資産の減少額35億16百万円、減価償却費18億58百万円及び税金等調整前四半期純利益12億81百万円の計上であり、主な減少要因は、仕入債務の減少額41億72百万円及びその他の負債の減少額6億22百万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は18億85百万円（前年同期比9億85百万円増）となりました。主な増加要因は、定期預金の払戻による収入24億14百万円であり、主な減少要因は、定期預金の預入による支出17億7百万円、無形固定資産の取得による支出9億25百万円及び有形固定資産の取得による支出7億76百万円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は14億13百万円（前年同期比3億15百万円減）となりました。主な要因は、配当金の支払額14億5百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、2023年5月15日に公表しました業績予想を変更しました。なお、当該予想値の修正に関する事項は、本日（2023年10月31日）公表しました「2024年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異および2024年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

配当予想につきましては、前回発表予想から変更ございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,683	27,463
売掛金	6,481	5,907
商品及び製品	5	15
番組勘定	25,611	22,066
仕掛品	46	71
貯蔵品	57	50
前払費用	1,001	1,291
その他	3,159	2,781
貸倒引当金	△64	△48
流動資産合計	64,980	59,598
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,358	4,189
機械及び装置（純額）	4,976	4,279
工具、器具及び備品（純額）	1,724	1,648
建設仮勘定	88	123
その他（純額）	28	24
有形固定資産合計	11,176	10,265
無形固定資産		
借地権	5,011	5,011
ソフトウェア	2,975	3,033
その他	127	764
無形固定資産合計	8,115	8,808
投資その他の資産		
投資有価証券	2,262	2,847
関係会社株式	7,780	8,128
繰延税金資産	1,766	1,465
敷金及び保証金	792	815
その他	196	346
貸倒引当金	△24	△24
投資その他の資産合計	12,774	13,578
固定資産合計	32,065	32,653
資産合計	97,046	92,251

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	21,314	17,314
未払金	1,704	1,090
未払費用	3,745	2,967
未払法人税等	120	397
引当金	55	88
その他	1,342	1,556
流動負債合計	28,282	23,416
固定負債		
退職給付に係る負債	1,854	1,933
その他	80	233
固定負債合計	1,935	2,167
負債合計	30,218	25,583
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	3,230	3,212
利益剰余金	59,217	58,533
自己株式	△1,008	△897
株主資本合計	66,440	65,847
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	316	780
繰延ヘッジ損益	42	12
退職給付に係る調整累計額	29	27
その他の包括利益累計額合計	387	819
純資産合計	66,828	66,667
負債純資産合計	97,046	92,251

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	38,463	36,614
売上原価	25,376	24,673
売上総利益	13,086	11,940
販売費及び一般管理費	10,955	10,901
営業利益	2,131	1,039
営業外収益		
受取利息	14	35
受取配当金	27	34
為替差益	—	222
持分法による投資利益	120	121
助成金収入	25	24
その他	10	15
営業外収益合計	198	453
営業外費用		
支払利息	—	0
支払手数料	13	13
為替差損	228	—
その他	22	12
営業外費用合計	264	26
経常利益	2,065	1,467
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	1	14
減損損失	—	70
投資有価証券評価損	—	101
特別損失合計	1	186
税金等調整前四半期純利益	2,063	1,281
法人税、住民税及び事業税	551	386
法人税等調整額	179	174
法人税等合計	730	560
四半期純利益	1,333	720
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,333	720

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	1,333	720
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10	464
繰延ヘッジ損益	33	△46
退職給付に係る調整額	△1	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	20	15
その他の包括利益合計	41	431
四半期包括利益	1,375	1,152
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,375	1,152

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,063	1,281
減価償却費	1,805	1,858
減損損失	—	70
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4	△15
その他の引当金の増減額 (△は減少)	14	13
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	13	76
受取利息及び受取配当金	△41	△69
為替差損益 (△は益)	△611	△394
持分法による投資損益 (△は益)	△91	△73
固定資産除却損	1	14
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△0
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	101
売上債権の増減額 (△は増加)	218	665
前受収益の増減額 (△は減少)	14	159
棚卸資産の増減額 (△は増加)	4,843	3,516
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,834	△4,172
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△198	257
その他の資産の増減額 (△は増加)	△572	△262
その他の負債の増減額 (△は減少)	△980	△622
その他	13	—
小計	1,654	2,404
利息及び配当金の受取額	41	69
法人税等の支払額	△129	△74
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,566	2,400
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,325	△1,707
定期預金の払戻による収入	3,706	2,414
有形固定資産の取得による支出	△810	△776
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△508	△925
投資有価証券の取得による支出	—	△316
投資有価証券の売却による収入	—	0
敷金及び保証金の差入による支出	△0	—
敷金及び保証金の回収による収入	8	5
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△500
出資金の払込による支出	—	△33
貸付けによる支出	—	△0
貸付金の回収による収入	30	—
資産除去債務の履行による支出	—	△45
投資活動によるキャッシュ・フロー	△899	△1,885
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△9	△8
配当金の支払額	△1,719	△1,405
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,728	△1,413
現金及び現金同等物に係る換算差額	36	70
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,024	△827
現金及び現金同等物の期首残高	27,333	25,757
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,308	24,929

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

連結の範囲の重要な変更

当社の連結子会社である株式会社WOWOWコミュニケーションズが、フロストインターナショナルコーポレーション株式会社の全株式を取得したことに伴い、当第2四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	メディア・ コンテンツ	テレマーケ ティング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	34,220	2,393	36,614	—	36,614
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	1,931	1,933	△1,933	—
計	34,222	4,325	38,548	△1,933	36,614
セグメント利益又は損失(△)	1,208	△173	1,035	4	1,039

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結会計期間において、フロストインターナショナルコーポレーション株式会社の全株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、「テレマーケティング」において650百万円のもの発生しております。

(重要な負のものれん発生益)

該当事項はありません。

（企業結合等関係）

（取得による企業結合）

当社の連結子会社である株式会社WOWOWコミュニケーションズは、2023年8月1日開催の取締役会において、フロストインターナショナルコーポレーション株式会社の全株式を取得することを決議し、同日付で株式譲渡契約を締結し、全株式を取得しました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：フロストインターナショナルコーポレーション株式会社

事業の内容：コールセンター事業、ダイレクトマーケティング事業

(2) 企業結合を行った主な理由

当社グループは、中長期的な成長の実現を目指すため、2023年3月より既存事業の強化や新規事業創出等を目的とした投資を開始しております。今回、フロストインターナショナルコーポレーション株式会社を当社グループに迎え入れることにより、テレマーケティングセグメントのさらなる成長と事業価値の最大化が見込めると判断し、株式取得を決定しました。

(3) 企業結合日

2023年8月1日（株式取得日）

2023年6月30日（みなし取得日）

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

結合前から変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社の連結子会社が現金を対価として、株式を取得したことによるものです。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2023年6月30日をみなし取得日としており、かつ当社と被取得企業との四半期連結決算日の差異が3か月を超えないことから、貸借対照表のみを連結しており、当第2四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表に被取得企業の業績は含まれておりません。

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	933百万円
取得原価		933百万円

4. 主要な取得関連費用の内訳及び金額

アドバイザーに対する報酬・手数料等 81百万円

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん金額

650百万円

なお、のれん金額は、当第2四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(2) 発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力であります。

(3) 償却方法及び償却期間

効果が発現する期間にわたって均等償却いたします。なお、償却期間については算定中であります。

3. 補足情報

(1) 販売の状況

当第2四半期連結累計期間における売上高実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	売上高 (百万円)	対前年同四半期増減率 (%)
メディア・コンテンツ	34,220	△4.0
テレマーケティング	2,393	△15.4
合計	36,614	△4.8

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 「メディア・コンテンツ」セグメントには会員収入30,491百万円を含んでおります。

(2) 四半期個別業績情報 (参考)

① 個別経営成績 (累計) ・個別財政状態

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	31,665	△4.9	1,021	△36.8	1,713	△11.2	1,018	△24.9
2023年3月期第2四半期	33,285	△4.9	1,615	133.2	1,929	72.4	1,357	49.0

	総資産		純資産	
	百万円		百万円	
2024年3月期第2四半期	83,018		58,612	
2023年3月期	87,581		58,489	

(注) 個別経営成績 (累計) ・個別財政状態の数値は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

② 2024年3月期の個別業績予想

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,400	△2.8	1,200	△57.5	500	△75.4	17.76

(注) 本四半期決算短信3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」に記載しましたとおり、2024年3月期通期業績予想を修正しております。